

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 737 号 令和 4 年10月

第50回中国地区獣医師大会・令和4年度獣医学術中国地区学会開催 ＝ 出席・ご支援・ご協力いただいた皆様に感謝！ ＝

会長理事 田 中 尚 秋

台風11号が近づいている中、心配された天気も山口では大きく崩れることなく、去る令和4年9月3日(土)、新山口駅前の山口グランドホテルにおいて、本会としては10年ぶりとなる中国地区獣医師大会が、また、3日(土)、4日(日)には、獣医学術中国地区学会が開催されましたので、その状況を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、岡山県、広島県では対面開催ができなかったため、対面による開催は実に3年ぶりとなりました。大雨による山陰本線の一部不通や新型コロナの影響等により急な欠席もありましたが、参加者は当初の目標300人を上回り、二日間の延べ総参加人数は550人超でありました。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

獣医学術中国地区学会の詳細につきましては、産業動物・小動物・獣医公衆衛生それぞれの中国地区学会長から報告いただくこととしていますので、全体的な件につきまして報告させていただきます。

3日午前11時30分から受付を開始し、午後0時30分から日本産業動物獣医学会（中国地区）学会及び日本獣医公衆衛生学会がそれぞれ開始されました。

午後2時20分からは、事前申し込みのあった市民の皆様を加え、前田 健先生による市民公開講座「動物由来感染症からペットを守り、自分を守る」と題してのご講演がありました。皆様よくご存じのとおり前田先生は前山口大学共同獣医学部ご在任中、わが国初のSFTS患者の病因を究明された先生であります。マダニ媒介性感染症としてSFTSの脅威について我々会

員は元より全国的にも大いに啓発していただきました。今回は狂犬病、インフルエンザウイルス、SARS-COV-2、マダニ媒介感染症について1時間強、100名超の聴衆を前に熱心にご講演をいただきました。現在は国立感染症研究所獣医科学部長としてご活躍中ですが、日本を代表してのご公務も多く、超多忙な毎日をお過ごしのことと思われるので、お身体ご自愛いただきますようお願いし、さらなるご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

市民公開講座に引き続いて農林水産省消費安全局畜産安全管理課の白尾紘司課長補佐による特別講演「獣医療をめぐる情勢～獣医師に求められる倫理観や最近の獣医療提供体制について～」がありました。白尾先生は山口県のご出身で、山口大学農学部獣医学科のご卒業のため馴染みの先生方も多く、多くの会員がご熱弁に聴き入っておりました。

午後4時20分からは、今回のメインイベントの一つである中国地区獣医師大会が開始されました。

まず始めに小職から開会の挨拶を行い、引き続き（公社）日本獣医師会の藏内勇夫会長からご挨拶をいただきました。

続いて、長年にわたり獣医界の発展に多大な功労のあった先生方に対する日本獣医師会会長表彰が行われ、9名の受賞者を代表して浅原哲治先生に藏内会長から賞状等の授与がありました。また、中国地区獣医師会連合会会長表彰は小職から27名を代表して中川和克先生に賞状等の授与を行いました。次に、昨年度

令和4年度産業動物講習会のご案内

下記のとおり開催します。産業動物部会以外の会員にも関心の高い「抗菌剤」がテーマですので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

○開催日時：令和4年11月5日(土) 13時30分～15時30分

○演 題：「抗菌剤の使用量低減による薬剤耐性対策を目指して」

○講 師：(株)微生物化学研究所 動物医薬学術室 シニアテクニカルアドバイザー
獣医学博士 加藤 敏 英 先生 (酪農学園大学特任教授)

○会 場：防長苑 (山口市熊野町)

○参加申込：令和4年10月27日(木)までに事務局に申し込んでください。

※学生など会員以外の方については、参加費をいただきますのでお問い合わせください。

獣医学術中国地区学会賞を受賞された皆様に、昨年度担当された広島県の日本産業動物獣医学会（中国地区）学会長 奥田 稔先生、日本小動物獣医学会（中国地区）学会長 櫻田 晃先生、日本獣医公衆衛生学会（中国地区）学会長 山岡弘二先生からそれぞれ表彰盾等の授与がありました。今回表彰の栄に浴された皆様に心からご祝意を申し上げます。山口県関係の受賞者は次のとおりです。（順不同、敬称略）

・日本獣医師会会長表彰受賞者

西野 奨 浅原哲治

・中国地区獣医師会連合会会長表彰受賞者

三上俊樹 福島和彦 野崎昭利

中川和克 大田悦三 中村博行

・令和3年度獣医学術中国地区学会賞受賞者

「フレンチブルドッグの脳腫瘍：24症例」

菅野瑞起（山口大学共同獣医学部）

続いて、来賓挨拶に移り、時間の都合により次の方のご来賓に挨拶をいただきました。

①農林水産省消費・安全局長（代理：畜水産安全課 課長補佐） 白尾紘司 様

②環境省自然環境局長（代理：中国四国地方環境事務所統括自然保護企画官） 木住野泰明 様

③厚生労働省健康局長（代理：結核感染症課 感染症情報管理室長） 今川正紀 様

④山口県知事（代理：副知事） 平屋隆之 様

⑤山口県議会議長 柳居俊学 様

ほかにご臨席賜ったご来賓は、山口市長 伊藤和貴様、（一社）山口県医師会会長 加藤智栄様、山口大学共同獣医学部長であり今回の獣医公衆衛生（中国地区）学会長でもある度会雅久様、（公社）日本獣医師会副会長 砂原和文様、等でありました。

来賓紹介の後、大会議事に移り中獣連会長である小職が議長となり議事進行に務めました。

〔大会議事〕

1 第49回中国地区獣医師大会決議事項並びに各年度の中国地区獣医師会連合会会長会議決議要望事項に係る処理経過報告（岡山県獣医師会会長欠席のため加藤信介常務説明）

2 大会提案議案（5題）

提案県である鳥取県獣医師会山根健介専務、島根県獣医師会増田省一常務、岡山県獣医師会加藤常務からそれぞれ説明

3 大会宣言

大会宣言（案）を本会の國吉佐知子理事から提議していただきました。

提議された議案はすべて全会一致で承認されました。

以上で1日目の行事は滞りなく終了し、日本小動物獣医学会（中国地区）を加えた2日目の獣医学術学会も特に大きな混乱もなく円滑に終了することができま

した。

来年度引き受けである（公社）鳥取県獣医師会 高島一昭会長、（公社）島根県獣医師会 安食政幸会長、（公社）岡山県獣医師会 春名章宏会長、（公社）広島県獣医師会 川野悦生会長をはじめ中国地区各県獣医師会役員・事務局の皆様、学会幹事等役員の皆様、山口大学共同獣医学部教官・学生の皆様、本会理事・監事の皆様等、学会・大会の運営・進行等にご協力いただいた皆様、並びにご参加いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

最後に、大会における私の挨拶を紹介し、本稿を終わらせていただきます。

〔大会開催の挨拶〕

本日はお暑い中、またご多忙のところようこそお越し下さいました。

皆様方には、平素から本会の業務遂行に当たりまして、特段のご支援・ご協力・ご指導を賜っておりますことに、まずもって厚く御礼申し上げます。

山口県で大会が開催できますのは、実に10年ぶりでございます。また、中国地区で、このように対面で開催できますのは、3年ぶりでございます。実に感慨深く、学会発表等を含め、開催に向けてご支援・ご協力等賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

このところ新型コロナウイルス感染症が、またまた猛威をふるってございます。この感染症では、今まで多くの方がお亡くなりになりました。心からお悔やみを申し上げますと共に、現在も闘病されておられます皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。さらに、この対応で多くの医療従事者の皆様方には並々ならぬご労苦をおかけしてございます。改めまして敬意を表しますと共に、深く感謝申し上げます。

このような状況の中ではございますが、ご多用の中、多くのご来賓の皆様にお越しいただいております。

関係行政官庁からは、本日特別講演を賜りました農林水産省消費・安全局 畜水産安全課 課長補佐の白尾紘司様、環境省中国四国地方環境事務所 統括自然保護企画官の木住野泰明様、厚生労働省健康局 結核感染症課 感染症情報管理室長の今川正紀様、山口県副知事の平屋隆之様、山口県議会議長の柳居俊学様、山口市長の伊藤和貴様、教育・研究機関から山口大学共同獣医学部長の度会雅久様、団体からは、平成26年に当会と学術協力推進協定を締結させていただいている一般社団法人山口県医師会の加藤智栄様、獣医師会関係では、日本獣医師会会長の藏内勇夫様等をはじめ、多くのご来賓にご臨席を賜りました。

平素からご厚情を賜っておりますことを含めまして、改めまして深く感謝申し上げます。

今後とも引き続きまして、ご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、近年の獣医界を取り巻く情勢は、国内の養豚

農場や野生イノシシにおける豚熱の継続的な発生、あるいは、養鶏場や野鳥における高病原性鳥インフルエンザの発生、さらには東アジア地域で続発しているアフリカ豚熱や口蹄疫についても予断を許さない状況となっています。

山口県でもこのところ立て続けに野生イノシシで豚熱の陽性個体が確認されておりますし、過去、養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生も経験してございます。そういうことで、関係される諸先生方には、心休まる日がないのではないかと、心配申し上げているところでございます。

また、狂犬病やSFTS等、人と動物の共通感染症対策は、待ったなしで対応が求められております。

こういう情勢の中、日本医師会と日本獣医師会が主体となって取り組んでいただいています“One Health”の推進は、正に時機を得た取り組みであると高く評価させていただいているところでございます。

私共は、『動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。』を活動指針として、人と動物の健康及び地球の健康、環境の保全を一体的に捉えて対処する“One Health”を効果的に実践し「人と動物が共存して生きる社会」の実現を目指して活動しているところでございます。

そういった意味におきましても、私は、ウクライナ紛争で地球環境が痛めつけられていることには、憤りを禁じ得ないのでございます。“One Health”の推進は、全地球的なものとしなければなりません。11月

11日から3日間にわたり日本獣医師会等の主催により福岡県で開催されます第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会等を通じてさらにこの機運が高まっていくことをご期待申し上げます。

ところで、獣医界では、ご承知のとおり本年5月1日に愛玩動物看護師法が施行され、11月には予備試験、来年2月には本試験が実施されることになっております。いよいよ国家資格を持つ愛玩動物看護師さんが誕生されることになりまして、ますます高度化する獣医療に対応すべく『チームによる獣医療』が期待されております。今日・明日の学術研究発表等を通して、十分ご研鑽いただき、獣医療技術の向上等を図っていただくことで、さらなる社会貢献にご協力いただきますようお願い申し上げます。

さらに、本年6月1日から販売用の犬・猫につきまして、マイクロチップの装着・登録が義務付けされました。これにより、災害発生時等に逸走した動物の保護が速やかに行えることにつながっていくものとご期待申し上げます。

結びに当たりまして、先ほど“One Health”の推進についてお話させていただきました。地球温暖化防止、SDGsの推進等、様々な取組が始まっておりますことはご同慶に堪えません。今後とも、この“One Health”の考え方がさらに世界中に広まり、地球環境の保全につきまして全世界で一体的な取り組みがなされ、また獣医界がさらに発展しますようご祈念申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

大会宣言

本日、ここに第50回中国地区獣医師大会を開催し、我々獣医師が日々直面する重要課題について討議し、これを採択決議した。

近年の獣医界を取り巻く情勢は、国内の養豚農場や野生イノシシにおける豚熱の継続的な発生、養鶏場や野鳥における高病原性鳥インフルエンザの発生、さらには東アジア地域で続発しているアフリカ豚熱や口蹄疫についても予断を許さない状況となっている。

また、狂犬病や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）等、動物由来感染症対策に加え、動物愛護管理法の改正による販売される犬猫へのマイクロチップ装着義務の適用や、改正食品衛生法に基づく食品関連事業者へのHACCPに沿った衛生管理の導入、災害時における被災動物の救護体制の確立等の課題がある。

さらに、本年5月に施行された愛玩動物看護師法に基づき、獣医師と愛玩動物看護師の役割分担と連携の下での、高度かつ多様なチーム獣医療提供体制の構築が期待されている。

これらの社会的ニーズを踏まえ、我々獣医師は、それぞれの専門分野において、獣医師倫理の高揚に努めるとともに、獣医学分野での一層の研鑽を重ね、「動物と人の健康は一つ、そして、それは地球の願い」（One World One Health）を活動理念として、本日ここに決議された使命の達成に向け日々努力し、もって社会の負託に応えることを宣言する。

令和4年9月3日

第50回中国地区獣医師大会



日本獣医師会会長表彰受賞者



中国地区獣医師会連合会会長表彰受賞者



挨拶される
藏内勇夫日本獣医師会会長



挨拶される
平屋隆之山口県副知事



挨拶される
柳井俊学山口県議会議長



来賓として参加いただいた
伊藤和貴山口市長



令和3年度獣医学術中国地区学会長
賞受賞者(小動物獣医学会)



中国地区獣医師大会
会場の様子



大会宣言を読み上げる
國吉理事



特別講演講師
白尾紘司農林水産省課長補佐



市民公開講座講師
前田健国立感染症研究所
獣医科学部長

日本産業動物獣医学会（中国地区）開催報告

中国地区学会長 佐々木 直 樹

（山口大学共同獣医学部）

令和4年9月3日～4日の2日間に亘り、山口市新山口駅前の山口グランドホテルにて日本産業動物獣医学会（中国地区）が開催された。

開会にあたり、地区学会長としての小職の挨拶後、日本産業動物獣医学会 副学会長の佐藤真澄先生に産業動物の現状を踏まえ挨拶をいただいた。

2日間で36題の演題が発表あり、いずれも質の高い研究で精力的な内容であった。中にはエビデンスレベルの高度な演題も含まれ、全体として興味深い内容であった。

学会終了後選考委員会が開催され、下記の2題が中国地区学会賞受賞演題として選出された。

- ①「愛玩鶏で確認された鳥糸状虫症」
細川久美子（広島県西部家畜保健衛生所）
- ②「門脈造影検査下における短絡血管結紮法により治癒した先天性肝外門脈体循環シャントの黒毛和種子牛1症例」
加藤圭介（株式会社益田大動物診療所・島根県）



発表される大石先生（山口支部）



産業動物獣医学会 会場の様子

日本小動物獣医学会（中国地区）開催報告

中国地区学会長 白 永 伸 行

（シラナガ動物病院）

令和4年度の中国地区学会が9月3日(土)～9月4日(日)の2日間、新山口駅前の山口グランドホテルで開催され、コロナ渦を経て本年は3年ぶりに完全対面方式で行われ、小動物地区学会は9月4日(日)に行われた。

開催県の学会監事として地区大会長を仰せつかった不肖私が開会の挨拶を述べたあとに、日本獣医小動物学会副学会長の北里大学獣医学部教授岡野昇三先生よりご挨拶を頂戴した。

研究発表は会場を外科内科の分野の2つに分け、合計54題が発表された。コロナ渦もあいまって例年より若干症例数は減少したが、精力的な発表ばかりであった。また感染対策を行いつつも活発な質疑応答もみられ、学会で行われる対面の肌感覚を参加者は取り戻したと思われた。

内容に目を向けると、演題は様々なジャンルに別れ、腫瘍性疾患、感染症、歯科、画像診断系の演題

が重なる傾向であった。学会終了後、選考委員会が開催された。1例報告よりも症例を蓄積してとりまとめた研究発表の方が評価が高い傾向であった中で、以下の3題が中国地区学会賞受賞演題として選出された。

- ①「猫の角膜黒色壊死症の重症例に対する角膜実質切除と生体材料Biosis®移植の効果」
瀧本良幸（ナディア動物クリニック・動物眼科：岡山県）
- ②「当院における慢性皮膚症状を呈する犬79例に対する除去食試験の検討」
元山奈津実（倉敷動物医療センター・アイビー動物クリニック：岡山県）
- ③「脾臓摘出後に顕性化した犬バベシア症の30例」
白永伸行（シラナガ動物病院：山口県）



発表される山田先生（徳山支部）



小動物獣医学会 会場の様子

日本獣医公衆衛生学会（中国地区）開催報告

中国地区学会長 度 会 雅 久

（山口大学共同獣医学部）

令和4年度、恒例の表記学会が、山口県担当で9月3日(土)～4日(日)の2日間、山口グランドホテルで開催された。

開会にあたり、地区学会長としての小職の挨拶の後、日本獣医公衆衛生学会副学会長のヤマザキ動物看護大学教授、植田富貴子先生に公衆衛生の現状等を踏まえ挨拶をいただいた。

2日間で計23題の演題が発表され、いずれも質の高い研究で精力的な内容であった。新型コロナウイルス感染症拡大中にもかかわらず、多くの方が参加され、活発な質疑応答がなされた。久しぶりの対面での開催であり、討論を重視した学术交流の場を提供することができた。

今年度も様々な職域からの発表があった。これまでに発表がなかった新たな話題として、動物福祉と獣医法医学的解析の報告があった。今後、公衆衛生学の領域で重要なテーマになるものと考えられ、専

門家の養成が必要であると思われた。食肉処理時における衛生管理改善への取り組み等、食の安全に関する重要な知見が多数報告された。SFTS等人獣共通感染症に関する発表もあり、幅広く知識を得ることができた。

学会終了後選考委員会が開催され、下記の2題が中国地区学会長賞受賞演題として選出された。

- ①「島根県で初めて確認されたカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の全ゲノムシーケンス解析」
川瀬 遵（島根県保健環境科学研究所）
- ②「原因不明の集団胃腸炎事案及び食中毒事案におけるサポウウイルスのブロードリアクティブ・リアルタイムPCRを用いた遡り調査」
鈴藤 和（広島県立総合技術研究所 保健環境センター）



発表される木下先生（県庁支部）



獣医公衆衛生学会 会場の様子

リレー随筆

美祢支部 中谷 幸穂
(山口県農林総合技術センター畜産技術部)

県畜産試験場に勤務しております中谷です。

病性鑑定室時代の先輩である西本さんのお願いなので断ることもできず、特に書くこともないのですが読んでいただけたら幸いです。

みなさん趣味はお持ちですか？この年になって趣味を聞かれることなんてそんなにないのですが、自己紹介の定番ネタですので何か話題になることがあればなど常々思っただけで早〇年。幼少のころはピアノを習っていたり、大学の時は管弦楽団に入っていたりと、音楽はそれなりに好きで細々と機会があればやるのですが、なにせ高みを目指すモチベーションはなく、なんとも中途半端なので、私の中では趣味認定されていません。持って生まれた資質の問題かもしれませんが、いわゆる「ハマる」ものを求めています。若いころはフルマラソンに出てみたり登山してみたり、結婚してからは通販の革細工や刺しゅうなどやってみるのですがキットだけが途中から残されている始末です。ハマっているわけではありませんが、友人に誘われて近所のパン教室だけは月に1回行っていてこれは5,6年続いているのではないかと思います。パンを作る作業も楽しいですが、作りながらや、パンの試食を兼ねてのランチでのおしゃべりが目的です。家でもピザくらいは作りましたが、こねる作業はやっぱり手ではなかなか大変な作業なので数回しかやっていません。先日やっとホームベーカリーを購入しました。自動で食パンができるコースでやっ

てみましたが、文明の利器はすばらしいもので、こねるところだけでも機械がやってくれたらと思って購入したのに、成形作業が必要なパンを作ることが果たして何回あるか微妙なところでした。

人生100年時代、まだ半分くらいなのでこれからもハマるものを探してみたいと思います。

次は11月に出産を控えて産休中のかわいい後輩、水間先生をお願いします。



新入会員紹介

はじめまして



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました藤原果南と申します。周南市職員として周南市徳山動物園で勤務をしています。

出身は島根県で、出身大学は酪農学園大学です。大学ではハードヘルス学研究室に所属していました。研究室では大学付属農場や北海道内の酪農家で牛群の状態を様々なスコアを用いて評価し、現場で集めたデータに基づいて飼養管理改善のための提案をさせていただきました。

2018年に大学を卒業し、その後3年間は千葉県農業共済組合で大動物臨床獣医師として勤務をしておりました。配属先は千葉県の南端に位置する酪農発祥の地とされる南房総地域でした。縁もゆかりもなく知り合いもない土地で右も左もわからない新人の私に農家の皆さんは大変親切にしてくださり、多くの助けをお借りしながら牛について基礎から学ばせていただきました。大学時代から就職して3年間は牛中心の生活を送っていましたが、獣医師を志すきっかけとなった動物園で働きたいという思いがあり、この度周南市徳山動物園で働かせていただくこ

徳山支部 藤原果南
(周南市徳山動物園)

ととなりました。出身である島根県には動物園がなく、徳山動物園は幼いころから家族で度々訪れていたの思い出のある場所で働くことができ、嬉しく思います。

趣味は食べることで今はコロナ禍ということもあり外食をすることもほとんどなくなってしまいましたが、千葉県で働いていた時には休日はおいしいものを求めて出かけていました。また、お店の方とお話をするのも好きでお気に入りのお店を見つけてはカウンターで世間話をしながらごはんをいただくというのが定番の休日の過ごし方でした。山口県は海と山に囲まれた自然豊かな土地なので、コロナが収束した際には山口県ならではのおいしいものを探しに出かけたいと思います。

動物園での仕事は屋外にいることが多く、体力勝負なのでたくさん食べて寝て、動物園の動物の健康のために自分ができることを精一杯やっていきたいと思っています。今までとは異なる分野で働かせていただくため、知識も経験もなくご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

はじめまして



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました竹内康人と申します。今年度4月から山口県職員として山口健康福祉センター防府保健所の食品衛生課で勤務しています。

業務内容は食品衛生、動物管理、野犬苦情対応、と畜検査等で業務に慣れるために毎日勉強することができません。

私は山口大学卒業後、一度佐賀で県職員として勤務した後に山口県に戻ってきました。佐賀県職員としての経験を活かしてと畜検査業務にはやや慣れることができましたが、食品衛生業務や動物管理業務にはまだまだ分からないことが多く、てんてこ舞いの日々を送っています。

ところで、私は公園、庭園巡りを趣味としており、最近ではコロナの流行もあってあまり出かけることができませんが有名無名問わず庭園や公園に行くことを楽しみにしています。そして山口県には非常に優れた庭園があります。そのうちの一部を紹介させていただきますと、防府市にある毛利氏庭園は池

防府支部 竹内康人
(山口健康福祉センター防府保健部)

泉を中心に庭園内を歩き回りながら景色を楽しむ池泉廻遊式庭園という伝統的な庭園を近現代の手法でアップデートした素晴らしい庭園になっています。山口市にある雪舟邸はおそらく山口県の庭園の中でも特に有名な庭園と思われます。本物の水を使わずに山や水のある景色を表現する枯山水庭園と呼ばれる技法を用いて砂や苔で海を表現した前庭、改修を繰り返しながら雪舟の手掛けた当時の作庭を現在に残した本庭園の本堂からの眺めは非常に魅力的なものになっています。他にも周南市にある漢陽寺は昭和を代表する庭師である重森三玲氏が平安時代や鎌倉時代などの様々な時代の様式で作庭していることで有名です。

長々と私の趣味のことを書いてしまいましたが、何が言いたいかという私にとって山口県は非常に魅力にあふれた県であるということです。私はそんな山口県に県職員として少しでも貢献できるように日々業務に励んでいきたいと考えています。獣医師会の皆様、これからよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染その後

下関支部 原 田 秀 明
(なつ動物病院)

今年の6月から会報編集委員となりました、下関支部、なつ動物病院の原田です。

初回の会報編集委員会の日程を獣医師会に電話確認しておきながら、スケジュール帳に間違えた日程を記入し1週間遅刻していた、ドジっ子属性を備えた原田です。

私自身は余裕を持って30分前に会場に着いたと思っていたものですから、当日事務所にいらした酒井さん、木村さんを大変困惑させてしまいました。

田中会長、酒井さん、木村さん、会報編集委員の皆さま、関係者各位、大変ご迷惑をおかけしました。

さて、今月10月は私が原稿担当と相成りましたが、下関支部からのお知らせは特にはありませんでした。

このため、私が7月24日に新型コロナウイルスに感染してしまったその後のお話しを、皆さまにも興味があるだろうお金に関する分野でお話ししようと思います。

まず、私は獣医師1人、スタッフ4人の病院ですから、当然診察は10日間お休みしました。(9月7日からは自宅療養期間は7日に短縮しています。)

当院は時間帯予約制を取り入れていますので、すでに予約の方もたくさんいらっしゃったわけです。

このため、予約変更やフードお渡し等の患者さん対応の為にスタッフには普段より少ない人数で、時短で出勤して頂きました。

またその後スタッフ1人も感染が発覚したため、自宅療養していただきました。

この状況下で、社労士さんに使える補助金があるか確認したので、現時点での情報を共有したいと思います。

当院では「新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金」が使用出来るとのことでした。

「新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主」が対象で、「1ヶ月5%以上売上減少」した場合、「労働者数(療養など休業した数を除く)×日額上限(時期・地域により変動)×助成率(事業規模・労働条件による)」×日数分の助成金が得られます。

すごく簡単に言うと、売上が減少してもスタッフの件数分の助成金がかかります。詳しくは下記URL

および社労士さん等にご確認下さい。

「厚生労働省 雇用調整助成金(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html



当院(事業主)で使えるのはどうやらこの助成金のみでした。

ただ、自宅療養を行ったスタッフ自身が申請出来るものとして、健康保険で得られる「傷病手当金」があります。

「山口県後期高齢者医療広域連合 傷病手当金支給申請」

<http://yamaguchi-kouiki.jp/pa#12>



「連続する3日間を含み4日間以上働けなかった場合に」、「休業した期間給与の支払いが無かった、もしくは減額された場合」、おおよそ日給の2/3の補助が「3日目以降休んだ日数分」得られます。これは非課税なので手取り給与に近い手当が得られます。もし療養期間中の給与を減額しているスタッフがいる場合はこのことをお伝えしていただくと、喜ばれるかもしれません。

このご時世、ご自身もスタッフも新型コロナウイルスに感染せずというのはなかなか難しくなってきましたね。こういった公的な補助も得つつ、乗り切っていきましょう。

体温と体温計の話 (その2)

山口支部 中間 實 徳

(山口大学名誉教授・東亜大学獣医看護学コース客員教授)

えさせて熱産生をうながし体温が上がります。

風邪の時に体温調節のしくみが働くメカニズム5つ

発熱している時は身体の中で免疫細胞がウイルスと戦っている証拠です。体温調節のしくみを用いて、体温を上げて免疫を活性化させ、ウイルスへの攻撃力を高めています。風邪を引いた時、こうして体温調節のしくみが活用されています。

体温調節のしくみが働くメカニズム1：ウイルスを免疫活性食細胞が迎え撃つ

風邪の時にウイルスが体内に入ってくると、マクロファージがウイルスの情報収集をします。マクロファージは、その情報を免疫の司令官のT細胞へ伝達し、ウイルスに感染した細胞を破壊するように命令します。T細胞は、B細胞に抗体を作るように指令を出し、ウイルスに対抗する大量の抗体を作り出します。この抗体が補体と協力して、ウイルスに感染した細胞を破壊します。また、ウイルスではなく細菌の場合は、異物と認識され攻撃されます。

体温調節のしくみが働くメカニズム2：内因性発熱物質サイトカインが作られる

サイトカインは、内因性発熱物質とも呼ばれ、ウイルスとの戦いが始まると、免疫活性食細胞の働きによりつくられます。サイトカインには、インターロイキン1、インターフェロン、マクロファージ炎症蛋白(MIP-1)などの種類があります。

体温調節のしくみが働くメカニズム3：サイトカインが血流で脳に達する

サイトカイン(内因性発熱物質)は、血流に乗りながら脳に達しますが、目的地である脳の視床下部に行く途中でゲートとなる血液脳関門がある為、到達が困難となります。

体温調節のしくみが働くメカニズム4：情報伝達物質を作り視床下部に伝える

脳の視床下部にたどり着かない為、メディエータと呼ばれる物質であるプロスタグランジンE2(PGE2)の産生を促し、情報を持って視床下部へむかいます。こうして視床下部に伝達されます。

体温調節のしくみが働くメカニズム5：視床下部が発熱を指令

メディエータから情報を受け取った視床下部の体温調節中枢は、身体の各部に発熱を指令します。そしてこの指令にもとづき、皮膚の血管が収縮したり汗腺を閉じるなど、熱放散が抑えられ、筋肉をふる

風邪の時に体温調節が必要な3つの理由

風邪を引いてしまった時は、体温調節して上手に体温を上げることが症状を長引かせないポイントです。体温を上昇させることで、免疫力が活性化されると言われています。風邪の初期段階で、身体を温め免疫力をアップすることで、いち早くウイルスを撃退することができるので、悪寒など身体の異変を感じたら、身体を温かく保ちましょう。

体温調節が必要な理由1：病原菌の増殖を抑制する

発熱によって白血球などの免疫に関わる細胞が活性化されたり、病原菌の増殖を制御することがわかってきました。その理由ははっきりと解明されてはいませんが、温度があがるとたくさんの水素イオンが流れる、つまり活性酸素がたくさんつくられるということがわかっています。

体温調節が必要な理由2：白血球の機能を活発にする

傷口などから体内に侵入した細菌は、白血球に攻撃されます。また、風邪を引いた際、なぜ発熱がおこるかと言うと、白血球が病原体を攻撃したときにつくるサイトカインという物質が脳の視床下部に作用するためであると考えられます。

発熱によって白血球などの免疫に関わる細胞が活性化されます。体温が上がることによって、白血球が病原体を攻撃する機能が高まるということです。

体温調節が必要な理由3：免疫応答を活性化する

体温上昇によって免疫細胞の一つであるマクロファージの活動がさらに活性化されることが発見されました。インスリン分泌も、体温と密接な関わりがあることも分かってきました。体温が生体に与える影響はとても大きいことから、体温調節のしくみを理解することで免疫応答の活性化に繋がります。

体温調節のしくみを知り健康を維持しよう

体温の調節機能は、間脳の視床下部にあり、視床下部にある体温調節中枢が体温を調節する司令塔のような役割をしています。体温調節中枢には、体温を一定に保つ働きがあり、設定された体温をセットポイントと言い、私たちのセットポイントは37℃前後に保たれています。これは体内酵素が活性化する温度です。夏の暑い時期などは血管が太くなり、たくさんの血液を流すことによって、皮膚の表面温度

を上げます。汗をかくことによって、皮膚から熱を外にどんどん放出し、体の中に熱がたまらないように体温を調節しています。寒い時は、体内の熱を外に逃がさないようにする必要があります。血管が細くなり、血液をあまり流さないことで、皮膚の表面温度を低く保ち、体内の熱を外に逃がさないように体温調節をしています。

以上の資料の出典 インターネットによるイシハラクリニック副院長 医師 石原 新菜（イシハラ ニイナ）監修より引用し一部修正しました。

体温は、体の表面に近い部分と内側では異なります。脳、肝臓、腎臓、消化器などの臓器は常に働いているため、代謝が盛んであり、熱の産生量も多くなります。

これらの部位で測定される体温を深部（核心）温度といいます。実際に体内臓器の温度を常時測定するのは不可能ですが、ヒトでは最も核心温度に近い直腸の温度は37℃を超えます。筋や皮膚は熱の産生量が少ないうえ、熱の放散が簡単に行えるため、比較的低い温度を示します。このため、直腸温と腋窩温は1℃近くの差があります。

冬のインフルエンザと同様、夏になると（近年では梅雨明け前から）熱中症に関する数多くの報道が目につきます。2021年6～9月の4か月間、熱中症として救急車で搬送された患者数だけでも全国で58,729人（総務省消防庁調べ）にのぼりました。インフルエンザも熱中症も重症であれば生死にかかわるものですが、適切な対策をすれば、ある程度まで防ぐことができるとされています。とりわけ「熱中症の予防は難しいことではない」。

以下はインターネットで、早稲田大学 人間科学学術院・人間科学部 健康福祉科学科永島 計教授の話から。

腋窩温と体温は別もの？

「体温」ときくと、多くの方は発熱時などに家の体温計で計った温度を連想されるでしょう。しかし、私たちの研究領域でいう体温とは、身体の中の中心の温度のことで、深部温（コア温）とよびます。腋窩温が36℃台のかたも基本的に脳や心臓、肝臓などの身体の深部の温度は37℃で、その誤差は±0.2～0.3℃の狭い範囲に厳密に保たれています。ヒトの温度センサーは、一定の体温を保つため、実に正確に機能しているわけです。なぜでしょうか。動物、植物に関係なく、生命が生きていくにはタンパク質である酵素の働きが不可欠です。生命活動の基本は物質分解と物質合成、言い換えれば化学反応とみなせます。

たとえば、ご飯やパンなどに含まれる炭水化物は、唾液アミラーゼという酵素による麦芽糖への分解から始まり、さらに胃や小腸で他の数種類の酵素の働き等により消化され、最終的にグルコースとなりエネルギー源となります。グルコースはさらに細胞内の多くの酵素により分解され、あるいは別の酵素の作用により肝臓や筋肉にグリコーゲンとして合成され蓄えられます。大部分の酵素には、一番よく働く温度域があります。ヒトの場合38～39℃ぐらいで最もよく働く酵素が多くあります。腋窩温でたとえれば、「熱がある」温度域です。ただ、もっと上がってしまうと、酵素はタンパク質なので、熱でその構造が壊れてしまいます。おそらく、ヒトの安全センサーは安全域をもって、少し低めの37℃あたりに設定しているのではないのでしょうか。

体温調節とは？

生命を維持するため、自分の酵素がよく働く温度にもってこることが体温調節の最終目的です。恒温動物も変温動物もみんな体温調節をします。変温動物は環境の温度に大きく左右されますが、彼らは、体温をなすがままに上がり下がりさせているわけではなく、自分の体温を維持するのに最適な環境を探して行動します。カメだったら甲羅干しですね。また、変温動物は冬眠といっても本当に眠るわけではなく、穴倉を掘ってそこでじっとして熱が逃げないように調節しています。環境変化による体温変動は大きいですが、やはり身体にいい温度にしたいわけです。それを行動性体温調節と言い、変温動物はそれしか体温調節の手がありません。

同様に、恒温動物であるヒトも行動性体温調節をします。洋服を着たり脱いだり、エアコンをつけたり切ったり、寒い日はカイロを携帯したり。恒温動物の場合、それ以外に自律性体温調節も行います。自ら熱をつくったり、熱が逃げないようにする仕組みをいかして、酵素の働きが一番いいところに体温をもってくる。たとえば筋肉とかは熱をつくる器官ですし、副産物として熱がうまれる場合もある。筋肉本来の目的は体を動かすことですが、運動することで副産物として熱ができてしまう。逆に熱を逃がすには、汗をかいたり、皮膚の血管を拡張させたりして調節しています。おおまかですが、これが体温調節のメカニズムです。

「恒温動物の体温」

動物名	体温 (°C)
哺乳類	
ネズミ	37～38
ウサギ	38～40
クジラ	36～37
チンパンジー	36～38
サル	37～38
ヒト	36～37
コウモリ	{ 冬眠時 7.5 { 活動時 37
鳥類	
ニワトリ	40～42
フクロウ	41

あなたの平熱は何度ですか？

さて、脳や心臓などの深部温はほぼ37°Cで個人差はさほどないと話しましたが、腋下温など体表で計ると個人差があります。同じ人でも日内リズムにより、目覚め時に比べると夕方遅くの時間帯が一番高くなり、だんだん下がっていきます。若い女性なら目覚め時に計る基礎体温は約1か月単位で、一定の周期をもって0.3～0.5度ほどの範囲内で上下変動します。発熱の目安ともなりますので、安静時の自分の平熱を知っておくことはとても大事なことです。朝とか夕方とか同じ時間帯で計るようにし、環境の温度でも平熱は変わりますので、1年を通して計測しておくとういでしょう。

また、日内リズムで言えば、導眠、睡眠のきっかけは体温と密接に関係していると言われていています。眠りに入る前というのは皮膚に血流が増えて熱が逃げ、体温が下がったのをきっかけに眠りが始まります。それがなぜか…実はまだはわかっていないのですが、寝る前に風呂に入って熱が逃げやすいような状態にしておくとう寝つきやすい。ネズミを使った実験でも、入浴させたわけではありませんが、ずっと体温が下がるのをきっかけに眠りに入るのが観察されます。

発熱したら解熱剤で下げる？

自分の安静時の平熱より1°C以上高ければ発熱とみなします。しかし、少し熱が上がったからといって、あわてることはありません。熱が出るのは身体が酵素の働きを上げようとしているからで、酵素からするととてもいい状態。発熱は病気じゃなく、人

間の正常な免疫反応だと考えてください。発熱は細菌とかウイルスとかの異物を排除するうえでとても大事なことで、受験本番など以外の頭を使わなくていいときは解熱剤を飲まないほうがいい。基本的に1～2日ぐらいの熱だったら飲まないほうが「予後がいい、治りが早い」というデータもあります。インターネットの筆者は38.5°Cぐらいになってはじめて解熱剤を使うとのこと。発熱により、免疫反応の一つでサイトカインという物質が出て免疫をどんどん活性化していきます。ある種のものは、気持ちを悪くさせたり、だるくさせたりという作用があり、熱が上がるとそういうものが出やすくなります。「身体がだるい」「食欲がない」というのは、サイトカインの作用の一つで、「安静にしてください」という身体の中からのメッセージだと思います。また、発熱すると頭を冷やしたりしますが、実はそれでは熱は下がらないんです。温度感覚の問題にすぎず、身体から熱をとる意味はほとんどありません。運動や発熱で体温が高くなったとき、腹部を冷やしても気持ちはよくない。頭とか首筋を冷やすと冷感がうまれ、気持ちはいい。どちらも実際は冷えないですが、ただ熱感にともなう「だるい、しんどい」とかという気分が軽減されるという効果はあります。発熱自体でヒトが死ぬことはありません。ただし次に述べるように、熱中症は死につながりますので、予防が不可欠です。

熱中症は再発する？

基本的に発熱時の体温はおおよそ41.5°C以上には上がらない仕組みになっています。それが「なぜか」はまだわかっていないのですが、熱中症の場合、生命の危険が増す42°C以上になることがあります。体温調節がうまくできなくなったり、それ以上の熱が加わってしまったときに熱中症になります。大きな問題点はいったん熱中症になると体温調節が破綻してしまうこと。氷などで冷やして37°Cに戻っても、放っておくと、暑くもないのにまた勝手に体温が上がってしまう。あるいは、「外乱」と言いますが温度が変わったり、自分で動いたりしたときに、体温調節がちゃんとできなくなって問題を起こしてしまう。入院先でいったん元に戻っても、時間が経つと何の刺激もないのに体温が上がったり、逆に下がってしまうような状態になることがあります。これは重度熱中症で見られる症状の一つです。治ったと思ってから1週間後にまたおかしくなってしまった事例も報告されています。ほとんどは適切な治療で治りますが、なかにはずっと身体の調子が悪い状

態が続く方もいて、再び暑い環境にさらされるとすぐに熱中症になってしまい、それで死に至る例もあります。いくら身体を冷やしても、体が熱を逃がさないようにする反応を起こして体温が下がらない、すごく体温が上がっているのに震えなど熱をうみだす症状が出たりすることもあります。諸説ありますが、私は熱中症の根本的な原因として脳の体温調節の仕組みが壊れるからじゃないのか、神経のダメージを起こすようなものができてしまうのではないかと考えて研究をしています。まだ漠然としています。原因究明に努め、その状態を元に戻す薬を創りたい。熱中症になった人が病院に運ばれたら、身体を冷やしつつ、点滴などでその薬を入れて体温調節を正常に戻して、一人でも亡くなる方を減らせたらと考えています。

熱中症にならない方法とは？

最後に、簡単ですが熱中症の予防について。熱中症の原因は、脱水とか、高温高湿の環境で運動など熱がうまれるようなことをするとか、高齢者だったら部屋が暑いのに気づかずにそこに居続けてしまうとか。ですから、予防は実に単純なことです。クーラーをつける、極度に悪い環境で運動しない、運動するときには十二分に水分を摂るなどの対応が基本です。高齢者の方は、自分の感覚だけに頼らずに、室内の温度や湿度をチェックすることだけでも大きな予防効果があります。熱中症は健康な人にも若い人にも万人に突然起こる病気だと言えます。若年性の熱中症は運動や脱水などがきっかけとなりますが、高齢者の場合はちょっとタイプが違って、体温調節ができないことに起因していることもあります。汗をかきにくい、あるいは温度感覚の問題で環境温が変わったのを感じにくく、かなり室温が高いときでもストーブをつけてコタツにすっぽり入り、平気な顔をしている。熱は万人、平等に入ってきますが、高齢者は熱を逃がすような行動性体温調節がにぶっていたり、自律性の機能が落ちていたりするためだと思われれます。あとは温度感覚ですね。人間の温度感覚には2種類あり、普通に、温度が上がった、下がったという温度感覚と、もう一つは、それが自分にとっていいかどうか、快適かどうか。温熱的な快適性は、なぜうまれるのか。脳の中でどのようにその感覚がつけられるかは、わかっていません。これを明らかにすることも私の大きな研究課題の一つです。

(以上の記事はインターネットによる永島教授の話から)。

次に体温計の話をしします。(以下はテルモ体温研究所報告他を参考)

体温計は、動物の体の温度(体温)を計測するための温度計。ヒトの体温を測ることを目的したもので、概ね32℃から42℃までの範囲を測定できます。42℃以上を測定しない(電子式では「H℃」などと表示される)のは、体温が42℃を超えるとタンパク質が変質して死亡の危機であり、その状態において正確な体温を測定することに意味がないためです。

世界で初めて体温計がつけられたのは、なんと400年前!現在の形になるまでには、長い歴史がありました。1609年、イタリアのサントリオが世界で初めて体温計を考案しました。ガリレオによる気体の熱膨張を応用した温度計に触発を受け、世界初の体温計が作られました。蛇行するガラス管の一方を球型に加工し、もう一方を水入りの容器に入れるという単純な構造のものでした。ガラス球を口に含むことで内部の空気が膨張し、管内の水位を押し下げる度合いを目盛りで読み、それで体温を測りました。それまでは手のひらの感覚だけで体温をみていたが、サントリオは数量的に把握しようとした。しかし、このときはまだ正確には測定できず、その臨床的意義もあいまいなものでした。1691年カルロ・リナルディが沸点を見つけ、それまでにわかっていた氷点を基準にして目盛りが作られるようになりました。1714年、ドイツの物理学者G.D.ファーレンハイトが革袋でこした水銀を使った華氏温度計を発明、これを使って体温は華氏96度であることを見つけました。尚、日本でこの温度計を華氏(°F)と呼ぶのは、ファーレンハイトを中国で華倫海と漢字で書いたことによります。体温計が病人に使われるようになったのは、1858年以降のことです。この年、ドイツの高名な医学者カール・ウンデルリッヒが、病気によって熱型が違うことを報告しました。以来、病気の診断に体温測定が不可欠になりました。そのときに使った体温計は、長さ30センチ以上もある5分間計で、取り出すと下がる体温計だったと言われています。19世紀後半、細菌学や細胞病理学の目覚ましい進歩により、各種疾患の原因が次々と解明。さらに疾患特有の体温曲線も明らかになり、臨床の地位が築かれていきました。このような時代背景の中、ドイツのC. エールレによって水銀体温計は考案されたといわれています。

日本における体温計製造

第一次世界大戦の影響でドイツやイギリスからの体温計の輸入が途絶え、良質な国産体温計が医師の

間で強く望まれていました。そんな思いを受けて1921年に、テルモの前身である「赤線検温器株式会社」は設立されました。大日本医師会会長で医学会の重鎮であった北里柴三郎博士は、優良な国産体温計の製造という当社の設立趣旨に賛同し、設立発起人として出資者の募集に協力、さらに設立総会での議長も務めました。1984年、テルモ予測式電子体温計を家庭向けに発売。水銀体温計と同様に使いやすく、しかも壊れにくい電子体温計の開発が進められました。そしてテルモは1983年11月病院向けに、1984年2月家庭向けに、日本で初めての「平衡温予測方式」の電子体温計を発売しました。この電子体温計は、当初約1分で予測検温できるものとして市場に広く受け入れられました。

検温法：1) 腋下法 2) 口での検温法 3) 耳での検温法 4) 額での検温法

最近の検温法：

高精度のサーマルカメラで発熱者を検知することにより、感染のリスクを低減します。顔をかざして即時に体温測定とマスク着用検知、手指の消毒が同時にできる検温ソリューション。

非接触検温器の仕組みとは？

非接触検温器が、身体に触れることなく体温を測れるのは、私たちが発している“赤外線”をキャッチしているからです。赤外線とは、私達には目に見えない光（電磁波）を指します。すべての物体は、 -273.15 度という絶対零度と呼ばれる温度より高ければ、赤外線を放射しています。まず対象が放出する赤外線を、赤外線集光レンズを用いて集光します。検出できる波長帯の赤外線を集めることで、測定精度を向上させられます。

次に、集めた赤外線を、サーモパイルと呼ばれる電気部品を使って、電気信号に変換し、出力します。その後、増幅アンプを使って、サーモパイルから発せられた電気信号を増幅します。これによって、より高精度の測定が可能になります。最後に、赤外線と補正のための放射率を用いて、温度を計測します。放射率は物体ごとに一定の値をとる、物体の表面温度に対して放出される赤外線の割合のことで、サーモパイルが変換して出力した電気信号から検出した赤外線量と、あらかじめ測定しておいた放射率を用いて計算することで、温度を測ることができます。

簡単にいうと、物体が出す電磁波の性質は、温度によって変わるため、体温が測定できるということです。市場に出回っている非接触検温器のほとんどは、この赤外線感知型です。

他にも、黒体放射と呼ばれる原理を使用する非接触検温器も存在します。

非接触検温器のデザインは、遅くとも19世紀後半には存在していたといわれています。

あらゆるものに触れることなく温度を測れる非接触検温器は、食品工場や半導体の製造現場などさまざまなシーンにて用いられています。サーモグラフィも同じ原理です。

サーモグラフィは、対象から放射される赤外線を分析して、分布図・画像としたものです。

新型コロナウイルスの蔓延により、現在は、空港や商業施設等でも見かけるようになりました。

柏木幸助氏(初代)と体温計

柏木幸助氏は山口県防府市の代々続く薬種商の長男に生まれ、地元の華浦医学校などで理化学を学ぶ。発明家として知られ、20歳の時、安全マッチの製造に成功したほか、明治16年(1873年)医療用体温計を開発。32年(1899年)には、しょう油製造の過程でジアスターゼ(消化酵素)も発見し、“柏木ジアスターゼ”の名で国内外で話題となりました。また、明治20年(1877年)に設立し、昭和34年まで操業した体温計の製造会社は、最盛期には年間50万本を製造。海外輸出も手がけるなど発明工夫の企業化に成功した人としても知られました。大正2年(1913年)2代幸助氏が事業を継承し、柏木体温器製造所に発展しました。平成7年(1995年)防府市民有志により柏木幸助顕彰会が設立され、資料収集や銅像建立計画が進められ、10年(1998年)に開館する防府市青少年科学館の前庭にブロンズの立像が建てられることが決まりました(写真)。因みに、数学者の柏木孝夫・山口大学名誉教授は柏木幸助氏の弟さんの孫にあたります。



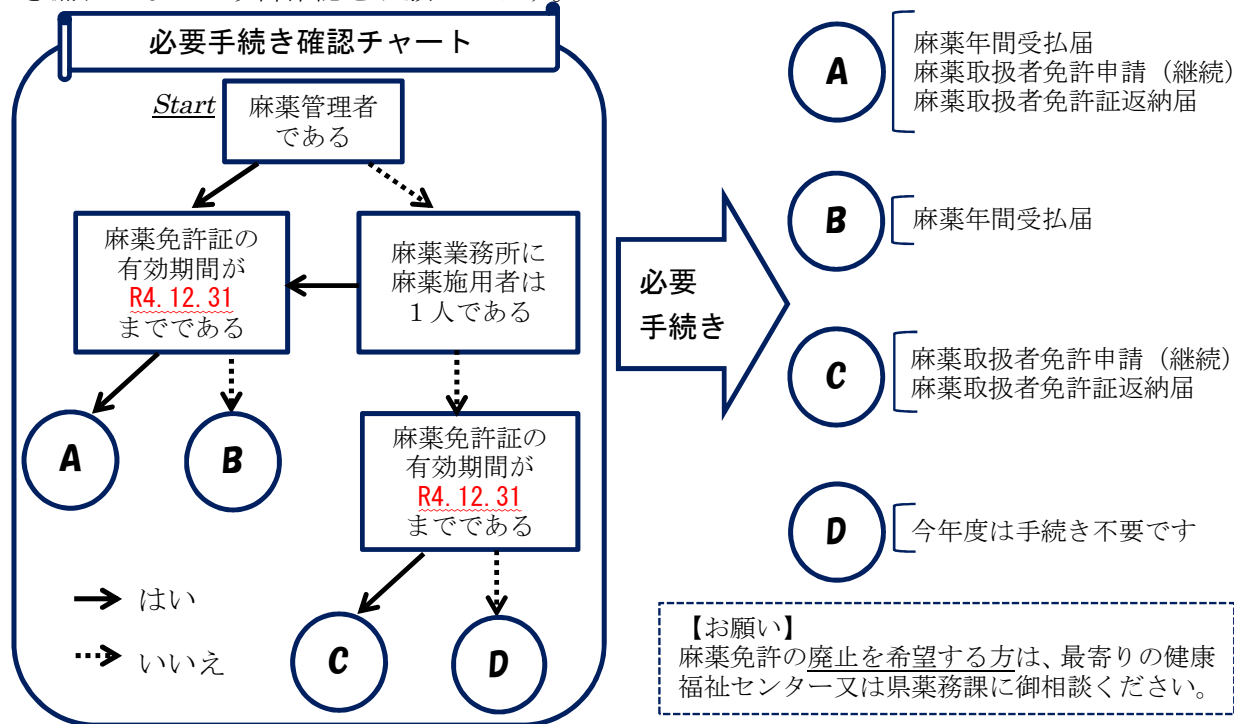
防府市役所裏にある青少年会館・ソラールに立つ柏木幸助の像

<麻薬管理者・施用者向け>

【重要】麻薬免許証をお持ちの方へ～手続きの御案内（山口県薬務課）～

麻薬取扱者は、10月から1月にかけて所定の手続きが必要となります。以前は、郵送等にて御案内しておりましたが、**現在は郵送での御案内はしていません。**

必要な手続きは免許種別や免許取得年等によって異なります。以下のチャートを参照し、手続き漏れのないよう御確認をお願いします。



【各手続き詳細】

麻薬年間受払届	麻薬取扱者免許申請(継続)	麻薬取扱者免許証返納届
<p>◆対象者 チャート中 ①、②該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬年間受払届 2部 (正本1部、副本1部)</p> <p>◆提出期限 令和4年11月30日</p>	<p>◆対象者 チャート中 ①、③該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬取扱者免許申請書 1部※ ・診断書(1ヵ月以内に作成されたもの) 1部※ ・(変更時のみ)麻薬保管設備等図面 1部※ ・手数料(県証紙) 4,300円分 ※下関保健所に提出時は2部(正副1部ずつ)</p> <p>◆提出目安時期 令和4年11月30日まで</p>	<p>◆対象者 チャート中 ①、③該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬取扱者免許証返納届 1部※ ・有効期間が満了した麻薬免許証 1部※ ※下関保健所に提出時は2部(正副1部ずつ)</p> <p>◆提出期間 令和5年1月1日～16日 (年始は1月4日から開庁します)</p>

【留意事項】

- 各様式は、山口県薬務課のHP又は最寄りの健康福祉センターで入手してください。山口県薬務課のHP内「麻薬関係手続きについて(既免許者向け)」のページには、記載例も掲載しています。(https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/48/101545.html)
- 提出窓口及び新免許証受け取り窓口は、管轄の健康福祉センター又は下関市立下関保健所です。開庁時間(平日8:30～17:15(12月29日から1月3日までを除く))にお越しください。提出は郵送も可。
- 新免許証は12月14日(水)以降に受け取りにお越しください。**ただし、御提出の遅れや不備事項があった場合には、新免許証のお渡しが遅くなる場合があります。

※麻薬業務所が防府市内にある方へ
12月15日(木)13時～16時のみ、防府保健所での新免許証受け取りが可能です。防府保健所での受け取りを希望する場合は、麻薬取扱者免許申請書(継続)の余白部分にその旨を記載してください。

★お問い合わせ窓口★

山口県薬務課 麻薬毒劇物班 083-933-3018
各健康福祉センター(岩国、柳井、周南、山口、宇部、長門、萩)
※下関市内の事業者の方は県薬務課へお問い合わせください

「国民年金基金制度」の周知について

県獣医師会事務局

日本獣医師会から、動物病院獣医師など、国民年金の第1号被保険者が対象とされている「国民年金基金制度」の会員への周知について、協力依頼がありました。

後日、全国国民年金基金山口支部から提供された資料を関係会員に送付しますので、加入についてご検討ください。

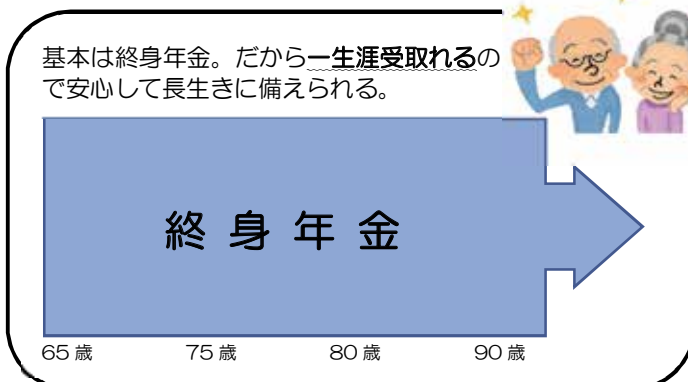
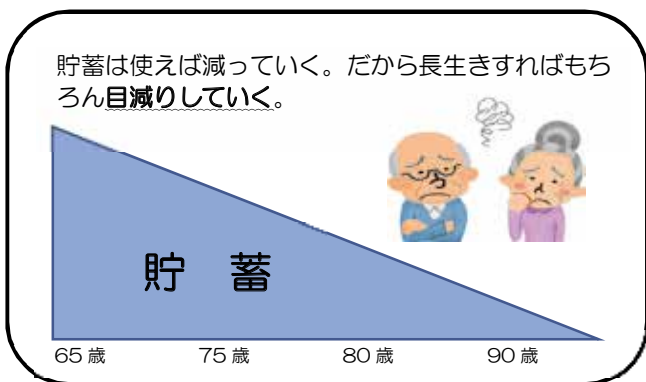
国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金

国民年金基金

《国民年金基金とは》 自営業・フリーランスなどの方々のため、老齢基礎年金に上乗せして、より豊かな老後を保障する公的な年金制度です。国民年金基金制度には、税制上の優遇措置があります。

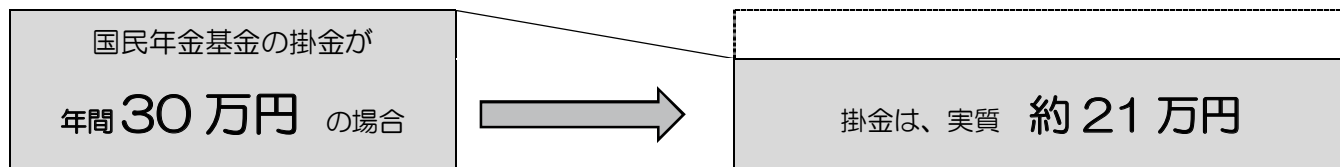
～貯蓄と年金の違いをご存じですか？～

令和2年年簡易生命表（厚生労働省統計情報部）によると65歳の平均余命は男性20年（85歳）・女性24年（89歳）ですが、今後も平均余命は延伸することが見込まれています。長期化する老後の備えとして考えたとき、生涯受取ることのできる「**終身年金**」は心強い味方になります。



～公的な年金だから税制面でも有利なんです～

◎所得税・住民税が軽減 ※例えば課税所得金額が400万円の場合



所得税・住民税の合計 **約9万円の軽減**

※軽減額は概算であり、課税所得金額及び掛金額等により異なります。

国民年金基金制度のお問い合わせ・ご質問・資料請求等はこちらへ



全国国民年金基金

〒753-0072 山口県山口市大手町7番4号
 ☎ リダイヤル0120-65-4192 (県内専用)

山口支部

KRY 山口放送支社ビル5階
 支部代表 050-3665-0286

お知らせ

中国地区小動物講習会のご案内

(公社)岡山県獣医師会から、次のとおり開催案内がありました。

- 日時：令和4年10月9日(日) 12:30~16:00
- 会場：サン・ピーチOKAYAMA (オンライン併用)
- 演題：「放射線診断～様々な症例で繰り返し見るX線の基本パターン/CTで答え合わせ～」
- 講師：日本大学生物資源科学部獣医学科 獣医放射線学 教授 中山智宏 先生
- 参加申込：
 - 「所属獣医師会名」「勤務先及び氏名」「参加方式(会場参加またはオンライン)」「携帯番号」とともに「令和4年度小動物講習会(中国地区)参加希望」と明記し、岡山県獣医師会事務局あてにメールで申し込んでください。メールアドレス oka-vet@rose.ocn.ne.jp
 - ※3日経っても確認メールが届かない場合は、事務局(086-243-1879)に確認してください。

お知らせ

宇部と地球環境を考えるフォーラムのご案内

(公財)宇部市常盤動物園協会から、次のとおり開催案内がありました。

- 日時：令和4年10月29日(土) 13:30~16:00
- 会場：ときわ湖水ホール 大展示ホール
- 内容：①演題：「動物死体から解き明かす5億年の進化」
講師：東京大学総合研究博物館教授 遠藤秀紀先生
- ②フリートーク
遠藤秀紀先生×ときわ動物園園長 多々良成紀先生×ときわ動物園名誉園長 宮下実先生
- 定員：200名(事前申込み 先着順)
- 申込：ときわ動物園 TEL:0836-21-3541 FAX:0836-21-5099 E-mail:info@tokiwa-zoo.jp

お知らせ

令和4年10月の主な行事

- 10月1日 ・動物感謝デー(上野恩賜公園)
- 10月5日 ・山口大学動物慰霊祭(山口大学)
- 10月9日 ・中国地区小動物講習会(岡山市 オンライン併用)
- 10月20日 ・第1回支部長会議(県獣医師会館)
- 10月27日 ・和牛共進会(山口中央家畜市場)
- 10月28日 ・ホルスタイン共進会(山口中央家畜市場)

事務局だより

- | | |
|--|-------------------------------|
| 9月2日 ・中国地区獣医師会連合会事務担当者会議
(山口グランドホテル) | 9月21日 ・日本獣医師会理事会(東京) |
| 9月3~4日 ・第50回中国地区獣医師大会・令和4年度獣
医学術中国地区学会(山口グランドホテル) | 9月27日 ・会報編集委員会(県獣会館) |
| 9月15日 ・やまぐち高度衛生管理農場推進協議会8月9日
(山口グランドホテル) | 9月30日 ・令和4年度第2回全国獣医師会会長会議(東京) |
| | 9月15日 ・事業推進会議 |

次回編集委員会 10月25日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第737号 令和4年10月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話(083)972-1174 FAX(083)972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

ボクが誰だか分かる？

マイクロチップ



マイクロチップは所有者明示の1つです。
装着・登録(変更登録)をしておけば、飼主が分かります。

毎年9月、10月は
「動物の飼い方マナーアップ強化期間」です。

山口県・市町・(公社)山口県獣医師会・(公社)山口県動物保護管理協会